

住み慣れた土地を奪われ、「核燃料デブリ」は未だ手付かず！ 廃炉への道のりは程遠く！それでも原発再稼働の道へ突き進むのか！

3.11東日本大震災・福島第一原発事故から7年を迎え、誰もがあの悲惨な事態を忘れてはならないと思いをはせ、改めて多くの犠牲者に哀悼の意を捧げたばかりでした。

その矢先、関西電力大飯原発3号機が、3月14日に再稼働し16日から送電が開始され、4月から営業運転を開始することが明らかになりました。3月14～16日といえば、ちょうど7年前、福島第一原発1号機、3号機、4号機が水素爆発を起こした日にちです。その同じ日に再稼働するとは・・・！

福島第一原発爆発事故から7年が経過し、日本国内に59基ある原発のうち、6機目の再稼働（2基定期点検中）ということになりました。さらに5月には、関西電力大飯原発4号機の再稼働も予定され、再び日本は、原発に頼るエネルギー政策を突き進んでいくのでしょうか。

原子炉周辺、原子炉内では、未だに高い放射線量により、ロボット、カメラにたよる作業が続けられています。廃炉への道のりは全くといって良い程見えてきません。作業員は、高い放射線を受け続け、汚染水は増え、溶け落ちた核燃料の状態すら把握できていない現状です。住み慣れた土地に足を踏み入れることさえ許されない状況も続いています。廃炉完了まで、30年から40年の目標を立てている、と言われてはいますが、現在の状況では、廃炉への道のりは程遠いと言わざるを得ません。それでも、私たち日本人は、原発を選択するのでしょうか。子供たち、孫たちに、未来に、リスクを背負わせて良いのでしょうか。

まだ間に合います！原発に依存しないエネルギー政策へ転換させていくために声を上げましょう！行動を起こしましょう！

3月21日には、市民団体の呼びかけで、「さようなら原発全国集会」が開催されます。多くの仲間たちが集まり、大きな盛り上がりをつくり原発推進の動きにストップをかけましょう！

6機目（2基点検中）の原発再稼働！原発が稼働していなくても電力は足りていたのではないか！
東日本大震災・福島第一原発事故から7年！